

第6回座間市入谷地区住居表示検討会ワークショップ



入谷地区における住居表示実施に関する市民アンケートの結果を受け、各班において住居表示の実施について議論しました。
(詳しいアンケート結果については、「入谷地区における住居表示実施に関する市民アンケート結果」のページをご覧ください。)



● アンケート結果概要

対象：入谷地区全域（全戸配布）

- 配布数：8,748件
- 回収数：2,933件
- 回収率：33.5%

住居表示の制度について

…… 知っていた 28% 知らなかった 72%

住居表示の制度を知らなかった方で(今回のアンケート同封資料をご覧ください)ご理解いただけただか

…… 理解した 34% だいたい理解した 57% 分からない 9%

住居表示の実施について

…… 賛成 31% どちらかといえば賛成 19% どちらかといえば反対 16% 反対 17% どちらでもよい 17%

A班

→ 住居表示実施に賛成

理由

- アンケートの全戸配布によって住居表示実施の周知が進んだ
- 住居表示の制度を知らなかった方の理解が進んだ
- 住居表示の制度を「知っている」または「理解した」「だいたい理解した」うえでの「(実施することについて)どちらでもよい」との回答は、賛成側として利用して問題ないのではないか。

実施に向けてやるべきこと等

- 実施に当たっては、小田急線沿線で東西に分け、2期に渡って実施する。
- アンケートの自由意見に対し、それぞれ出来るだけ詳細に回答する。
- より詳しい手続き情報をお知らせする。
- 広報を活用する。

B班

→ 住居表示実施に賛成

理由

- 住居表示の制度を理解してもらったうえでの「(実施することについて)どちらでもよい」を消極的賛成と捉える。
- アンケートに回答しなかった方も「どちらでもよい」と答えた方と同じ扱いでよいのではないかと。反対なら反対と答えるはず。
- 高齢者でも賛成者が反対者を上回っていた。

実施に向けてやるべきこと等

- 手続きに関して、今後対応策を考えるべき。
- 自治会を通じて、説明会を開催する。
- 広報を活用する。

C班

→ 住居表示実施に賛成

理由

- 「(実施することについて)どちらでもよい」を考慮しなくても、住居表示の実施について、「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計が50%に達している。

実施に向けてやるべきこと等

- 地域の事情に合わせた説明が必要ではないか。
- アンケートの自由意見を見ると手続きについて誤解している箇所も見受けられるので、手続きに関する理解を深めてもらうような対策を。
- アンケートの自由意見に対し、それぞれ出来るだけ詳細に回答する。
- 広報と自治会回覧を活用する。